

揖斐郡学校保健会だより 第2号 令和6. 8. 6

令和6年度 揖斐郡学校保健研修総会 特集号

令和6年7月31日(水) 13:00～15:15に揖斐川町地域交流センター「はなもも」多目的室(1)にて令和6年度揖斐郡学校保健研修総会を行いました。

総会には、郡三師会の先生方、郡学校保健会理事様、郡内各校の校長先生、保健主事、養護教諭、栄養教諭、体育主任の先生方、PTA会長様など117名の方にご出席いただきました。

第一部の総会で会長様・副会長様のご挨拶、郡学校保健会功労者表彰、郡学校保健環境衛生活動優秀校の表彰、歯の健康優良児童事業及び郡学校環境衛生活動の講評を行いました。

また第二部の講演では、「スマホ・ゲーム・ネットの使用に伴う問題とその対応～家族や学校でできるネット・スマホ・ゲーム依存にならない方法～」の演題で、NPO日本次世代育成支援協会 鷺津 秀樹先生にご講演をしていただき、研修を深めることができました。

お忙しい中、郡内学校保健関係者の多くの方にご参加いただき、どうもありがとうございました。



【令和6年度揖斐郡学校保健研修総会】

【第1部】総会・表彰・講評

13:00～13:35



13:35～13:50

【総会】 開会の言葉 郡学校保健会副会長 保坂 松治 様
＜挨拶＞
郡学校保健会会長・郡医師会会長 野田 宜輝 様
郡学校保健会副会長・郡教育会会長 香田 静夫 様

【表彰式】

郡学校保健会功労者表彰	学校歯科医	清水 崇仁 様
	養護教諭	新井 美香 様
学校環境衛生活動表彰	最優秀賞	池田町立温知小学校
	優秀賞	揖斐川町立揖斐小学校
		池田町立八幡小学校
		揖斐川町立北和中学校
	特選校	大野町立中小学校
		池田町立池田中学校
		大野町立大野中学校

※歯の健康優良児は学校ごとに表彰し、リーフレットで発表

歯の健康児童事業講評	郡歯科医師会会長	保坂 松治 様
郡学校環境衛生活動講評	郡薬剤師会会長	金森 豊 様

【第2部】講演

14:00～15:00

【講演】

スマホ・ゲーム・ネットの使用に伴う問題とその対応
～家族や学校でできるネット・スマホ・ゲーム依存にならない方法～

講師：NPO日本次世代育成支援協会 鷺津 秀樹 先生

15:00～15:15 お礼の言葉・閉会の言葉 揖斐郡小中校長会長 澤田 辰男 様

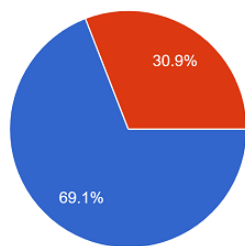
令和6年度郡学校保健研修総会アンケートより



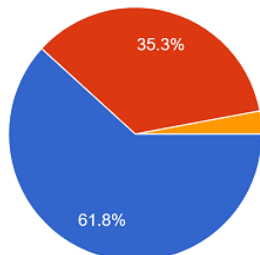


郡学校保健研修総会での「スマホ・ゲーム・ネットの使用に伴う問題とその対応」全体について

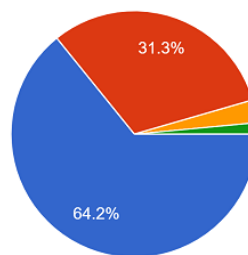
① 講演の内容について



② 講演の方法について



③ 講演の時間設定について



● 十分満足
● ほぼ満足
● やや不満
● 不満

揖斐郡教育研修総会での鷺津先生の「スマホ・ゲーム・ネットの使用に伴う問題とその対応～家族や学校でできるネット・スマホゲーム依存にならない方法～」についての講演についての感想や意見

- 依存症になってから対応しては非常に厳しいことがよく分かりました。依存症にならないための取組が大事です。本校児童や担任している学級にも当てはまる点が多くあり、指導や保護者との話に活かしたいと思いました。
- 情報モラルやネットの怖さに関する講演、研修はいろいろ参加しましたが、ネット依存については初めてで、非常に有意義でした。ネット、スマホに限らず、子どもが抱える諸課題について繋がるものがあり、とても良かったです。
- スマホ・ネット依存にならない、させないために、それ以外の楽しみややりがいになることに会ったり取り組んだりすることの大切さを感じました。
- スマホ・ネット依存になりやすい人、なりにくい人の傾向は初めて知ったので、勉強になりました。また、依存症は脳の病気であるということを重く受け止め、対応していかなければと改めて気付かされました。
- 早めに守れるルールを作り、親も真剣に取り組むこと。そして褒める事に挑戦したいと思いました。
- 依存のメカニズムについて、心理学の視点から学ぶことができました。ただ取り上げるだけでは根本的な解決にならず、依存を高めてしまうことが印象に残りました。
- 改めて、スマホ・ゲーム・ネット依存症は、人生に大きく影響することを認識できました。怖さを子どもたち、保護者、大人も認識することが大切であると感じました。
- 依存問題に取り組んでいる地域や学校は依存者が少ないということなので、やはり問題として取り上げていく必要があると思いました。
- 大変よく分かる内容でした。児童や保護者の講演でも取り上げていけるとよいと思います。
- 否定形でなく、肯定形で目標をもつことの大切さを感じました。
- もっと時間をかけて、じっくり聞きたかった。内容がとても分かりやすく、怖さがよく理解できました。興味深かったのは、発達障害との関係で、担任している児童の顔が思い浮びました。児童とのコミュニケーションで気をつけた方がよいことが少し分かった気がしました。
- 具体的な対応も示唆され分かりやすい内容だったと思います。県内で治療できる機関も少ないことは知っていただけに学校現場でどのように対応していくのがベターなのか分かりました。
- ゲーム依存による影響は想像以上に大きく、学校でもタブレット配付によりタブレット使用時間が長くなっているため、より一層気をつけていかないといけないと感じた。不安など居場所がないことが依存につながっていくことを知り、学校でもそういった居場所作りが必要であると改めて感じました。
- ネット依存によって子どもたちの体や心、脳にどんな悪影響が起こるのか詳しく知ることができました。ネット依存は他の依存症と比べて進行が早く、多くの子供がなりやすい環境にあることから、早急に改善していくべき問題ですが、ネットは年々進化し、家庭での問題も絡んでくることから、なかなかネット依存問題を改善していくのは難しいことだと改めて感じました。
- 本校でもゲームやYouTubeに夢中になる児童がほとんどです。特に長期休みには、地域特性上なか

なか友達と遊ぶということが難しい環境にあり、自宅でひたすらゲームをしている児童もいます。そのような児童が、他の楽しみを探し、これからの人生で可能性が広げられるように働きかけていきたいと感じました。

- 依存は嘘をつく病気や困っているのは保護者などはっとするお話がたくさんありました。スマホ、ネット依存になりにくい人のポイントは、予防に限らず全ての児童生徒に大切なことだと思いました。
- 改めて悪影響と今後の指導の必要性を感じました。機会あるごとに関係職員、子ども、保護者に伝えていきたいです。
- 学校現場で子どもたちの話を聞いていると、依存しているなど感じる場面が多々あります。個別に指導を行うこともありますが、やはり保護者の協力が必要不可欠のだと実感しました。子どもたちはもちろん、保護者への啓発も今後大事にしていきたいと思いました。
- お話を聞きながら、「禁止ではなく提案」や「スタートを0にして達成した喜びを次の行動につなげる」など、スマホゲーム依存だけでなく学校にいる感情がコントロールできずに苦しんでいる児童にも当てはまると感じました。やっぱり問題が問題として、子どもに向き合っていくことが大事だと思いました。
- 現代実際に家庭や現場が直面する事案が演題となっていて、とても良かった。講演内容からも時間のかかる対応になると思うが、丁寧に進めていく必要があるなど実感しました。
- 自分の子どももスマホを持つ時期になってきた時、しっかりとこのことを伝えようと感じました。
- 昨年担任していた子がゲームネット依存で、授業中にタブレットを手放せなかったのを思い出しました。罰は全く通用せずに暴言・暴力など大変でした。保護者とも悩んでいましたが、いろいろ工夫していくとよいことがわかりました。
- 現代社会では便利になった反面、依存症になりやすい環境にもなっていることを改めて感じました。
- ゲーム依存の怖さがよくわかりました。しかし子どもたちの回りにはスマホやゲームがあふれ、切
- 非常に学びが深まり、貴重な講演を聴かせていただいて感謝しております。専門的な視点からメディア機器が心身に及ぼす影響を具体的に知ることができ、とても勉強になりました。今後の実践のために今何を子どもたちに伝えていくべきか分かりました。特に印象に残った言葉は、いくら寿命が伸びても10代は10年しかないということです。児童一人ひとりの可能性や思い出を失うことがないように、まずは今、目の前の児童が充実した小学校を送ることができるよう、全力で指導支援していきたいと強く思いました。
- 2学期以降、ネットやスマホ、ゲームの利用時間の見直しを各家庭にしていただけるよう戦略をねっていたところですので、大変参考になりました。ありがたかったです。もう少し長く講演をお聞きしたかったです。

講演を聞いて、「スマホ・ゲーム・ネットの使用に伴う問題と」について、家族や学校でどのように取り組んでいけばよいと考えますか。

- 勇気づけで自己肯定感を高めていくこと、自分の良さを理解して仲間のために頑張れる子を育てていきたいと思いました。学校がすき”になるよう、様々な場面で子どもたちを認めていきたいと思っています。
- 児童や家庭の実態に沿った対応や家庭との連携、懇談等を取り組みたいと思いました。また、ゲーム依存に関わらず、叱るよりも褒めながら、子どものやるべきことやできることを増やしたいと思いました。
- まずはネット依存の現状について職員、保護者が理解することから始めることが大切だと思いました。家庭との連携の重要性を改めて感じました。セルフチェックシートや家族のルールのチェックリストの活用を検討したいです。
- 「お願いする」「祝う」など、下から上のコミュニケーションを意識して、一方的ではなく、子どもと一緒に取り組むということを大切にして取り組んでいきたいと感じました。学校がおもしろい、と思えるような学校づくりをすることが大切だと思います。
- 人生を豊かにできるような、向き合えるものを教師自身ももち、生徒に示していけるとよいと感じました。
- 今回のような講演会を学校でも開催したり、子どもと保護者が一緒に考える場（授業）を設定したりするとよいのではないかと思います。
- ルールを決めることと、親と子の関係が希薄にならないようにすること、児童本人に目標を持たせ、達成できたことを褒めることでより良い状態に持っていけるような取組を行っていくことが大切だと感じました。
- 子供たちの素敵な未来のために、楽しめる事面白い事に出会える機会を増やす関わりをしていきたいと思います。
- 家族だけ、学校だけで取り組むのではなく、今回の講演でいただいたセルフチェックシート等も活用しながら連携して取り組んでいきたいと感じました。また、今回の講演について保健だより等を通じて保護者の方にもお伝えし、スマホ・ネット依存になりにくい環境づくりをしていきたいと思っています。



- 学校での見届けには限界があるので、保護者にもゲーム障害や依存症の恐ろしさについて理解してもらえよう発信するとともに、現代的な問題として、依存になりにくくするために家庭を巻き込んで取り組みを行っていかなくてはいけないと思いました。このお話を、保護者対象で講演会を開きたいと思いました。
- ゲームよりも楽しいこと（友達と遊ぶ、運動する、音楽を聞くなど）をどんどん提案していこうと思いました。
- 「寝る1時間前にはスマホを見ないようにする」ということは分かっているものの、なかなか実行できないと思っていましたが、代わりにマンガがいつでも読める環境にすることで、スマホを見ずに済むということを知り、環境づくりも大切だと感じました。
- 依存症になりやすいタイプの児童を思い浮かべながら講演を聞きました。「つまらない」「さびしい」を解決するため、『一緒に』面白いことを探していきたいと思いました。また、ゲームやスマホを利用する際のルールを決めたり、目標を決めて達成できたらお祝いしたりと、『一緒に』取り組んでいく姿勢を学校・家庭で連携して大切にしたいと思いました。
- 大人の期待や目線で考えず、子どもの軸、目線で考えること、子どもの問題ではなく、親の問題だとの考えのもと、新しいアプローチしないと減らないと思いました。
- 現在も昨年度と引き続き、PTAや家庭と連携しながらメディア指導を継続的に行なっており、少しずつ良い傾向が見られますが、家庭の協力が非常に不可欠であると感じています。授業をした後や家庭での取組の期間中は意識して行動が変わりますが、そのようなきっかけがないと意識が低い傾向にあります。そこで、定期的に幅広い視点から専門的なご指導をいただく機会をつくっていきたいです。そのために、児童だけでなく保護者も一緒になって今と我が子の未来を考えていける集合型の講演会を企画し、家庭での実践につなげ、親子ともに意識と行動変容を図ることが今の課題であり、目標であると考えています。
- 「学校が好きな子」「前向きに取り組んでいる子」は依存になりにくい、と教えていただきました。学校は学ぶことの面白さはもちろん、人と関わることや未来への希望を広げていく楽しさを十分味わうことができる場にしていく努力を教師がしていかなければならないと実感しました。本人や家庭の教育力のせいにはしていないことを職員に早速共有します。

現在の社会は、急速に情報化・グローバル化するとともに、生成AIの登場により人間生活が質的にも変化してきています。そうした変化の激しい中で子どもたちには、本日の講演にあったようにネットの使用に伴う問題に自分で適切に対応するとともに、ネットを活用しながら自分で価値を創造してたくましく生きて自らの人生を切り拓いていく能力が必要になるそうしたことを考えた時に、子どもたちにどんな力を育てたいと思いますか。またどのような指導をしていくことが必要だと思いますか。

- AIやネットを上手に活用する力が必要だと思う。そのためには、基本的なマナーや知識を身に付けることとともに、学校の活動の中でも積極的に活用することが必要だと思います。
- 豊かな心とたくましく生きていくことのできる力や自分で考え、調整する力を育てていきたいです。
- 簡単かつ便利な情報機器としてだけでなく、機械にできない事を人間が補っていく必要があること。互いに支えあって生活していくことが大切である考え方を指導したいと思います。
- 自分の欲求を自分の理性でコントロールする力をつけたいです。そのために、時と場に合わせた善悪の判断を教師と保護者とで、教えて行かねばと思います。
- AIそのものについての講話はなかったのですが、考えている間に、どんどん進化・発展・変貌を遂げるため、現実と向き合って、どの立場でも危機感と必然性をもって、対応していかなければいけないと思います。
- 自分の生活や健康、感情を見つめ直し理解しようとする力、そして主体的に自己管理ができる力を育てたいです。そのために子供たちの実態把握を丁寧に行うとともに、家庭、地域、専門職と連携したより効果的な指導に取り組んでいく必要があると思いました。
- 正しい情報を自分で選び取る力をつけること。ネットだけではなく、周りの人たちと対話する力、自己表現力をつけることが必要だと考える。そのために、授業の中で、周りに関わりながら学ぶ場の設定や情報モラルの学習を取り入れていきたいと思います。
- 正しい情報選択ができる力と、正しい判断力を育てていきたいです。そのために、自分の欲求が高まった時、新しい価値や物に出会ったときに一度立ち止まって考えることができる力を育てていきたいです。
- ネット等にコントロールされるのではなく、自らがネット等をコントロールし、必要な時に必要な分を考えて活用できる力を育てていきたいです。
- 今の社会、ネット・スマホなしで生活していくことは、この先ほぼ不可能かと思います。その中で、上手に付き合っていくことを指導することが大切ではないかと思います。そのために、最初にあった怖さを知ること、対処法を知ることなどを細かく指導していく必要があるのかなと思いました。
- 自分で調べて完成させる喜び、会話力を活かして得た喜びを学校や家で感じさせてあげたい。ネットをダメなものにとらえるのではなく、具体的な害や対処法を伝える必要があると思います。
- 自らを高めることによって得られる自信と、周りに貢献することによって得られる貢献感を育てることが大切だと思います。
- 情報を取捨選択する力を育てて行く必要があると思います。情報教育を今まで以上に充実させる方が必要であると考えます。

- ネットを使うことが目的ではなく、ネットを使って何をするのかが大切であると思います。調べたいとかまとめたいとか、創り出したいとか思えるような授業を工夫しなくてはいけないと思いました。また、正しい知識、情報活用能力の育成。日常の授業を通して主体的に情報活用する場面を生み出していく必要があると思いました。
- 生成AIに全てを頼ってしまったり、流されてしまったりしないためにも、自分の考えをもち、多くの情報から必要とする情報を正しく選択する力を育てていきたいと思いました。
- ICT機器を自分を成長させるために使えるようにすること。ゲームを気分転換に使い、ゲームに飲み込まれない自制心を身につけること、自分で判断し、間違った判断をしたとき、それを指導のよい機会と捉え、正解を指導していくことが必要だと思いました。
- 自分で自分を、コントロール出来る力。我慢する力。見通しを持って行動する力。自分の気持ちを表現する力。コミュニケーション能力が必要です。ネットが問題ではなく、上手に付き合うことと、ネットに支配されずに使いこなすこと、あくまでも人が主であることが大切であることを学んで欲しいです。
- 依存症は、脳の病気であることを自覚したうえで、日常の寂しさやつまらなさの解消のためにネットに依存するのではなく、ネットを活用して主体的に価値を創造していこうとする態度を育てることが重要だと思いました。
- 興味を持てる楽しいこと、面白いことに会える機会が増えるように様々な情報が行き交うインターネットの世界には、正しい情報もあれば間違った情報もあるため、見たもの全てを信じるのでは無く、正しい情報なのかどうかを自分で考えて活用していく力が必要であると思いました。
- 自分たちで判断し考え、行動することが出来る力を育てたい。児童生徒に響くような指導を、専門家の指導を受けながら行っていきたいです。
- 自分で善悪を判断し、正しい使い方ができる子を育てていきたい。
- 人とのコミュニケーション能力、情報処理能力が必要。発達段階に応じて、情報機器の使い方の指導や危険性を指導していくことが大切だと思います。
- 使い方次第で自分の可能性を高めることも台無しにすることもできるものだと思います。正しい知識、判断のもと自己決定できるような生徒の育成が大切だと感じました。
- ネット上の情報を正しく評価し、信頼性を判断する力 情報を分析し、論理的に考え創造していく力、オンラインでの効果的なコミュニケーション能力と適切なマナーを守る力 技術変化に対応し取り入れていく柔軟性などを育てていきたいです。
- 自分で選択して、適切な方法を決定していく力だと考えます。そのためには、ネットのメリットやデメリットを十分に理解するとともに、依存してしまう原因や仕組み、環境などを知っておくことが重要だと思います。ネットを使用するうえでの良さを十分に発揮しつつ、心身に悪影響を及ぼさない上手な付き合い方ができるよう日頃から指導し、未来の自分を考えられるような指導を工夫して実践していきたいと思いました。
- 常に「活用する」立場であり続けること、目的や意思をもって使用すること、社会のため、人のために利用することが大切だと思いました。

特別支援教育におけるICTの親和性や発達障害の子どもたちの自分の可能性を生かし、自分を生かすための手立てとして、また教育の地域差による情報格差を解消するツールとしてネットは有効だと言われている。講演の内容を踏まえながら、そうした面で、どのようなネットの活用や指導を行っていることができるか。

- ICTの性質を生かし、個別最適な学びに繋げていけると感じています。例えば、図形を操作するなど学習の補助として活用できると思います。
- 児童生徒の特性に合わせ、できることを増やすために活用していきたいです。リモートを用いて他学校との交流もできると思います。
- ICTを活用することで、学校が面白くなったり、自分に自信が持てるような活用、興味を持てる対象について深めていくためのツールとしての活用を進めたいです。
- デジタル精神医学の研究をしている先生の講演で、発達障害児の治療トレーニングができるアプリが開発されたと知りました。1日20分週5日の使用で不注意の改善ができるとのことですが、そういった医療機器としても、今後利用できるとよいと思います。また、治療に使えるほど効果が高いということは、やはり脳への影響が大きいということが言えるため、発達障害をもつ児童生徒の保護者には、講演会・研修会等でICT活用のメリットとリスクを知る機会をもっていただき、依存症を予防しながら適切に使用できるよう学校と家庭で指導支援していくことが必要だと思います。
- 特性から、ICTの活用で力を発揮できる子どもたくさんいると思うので、正しい使用方法や情報の取捨選択の基準などを、わかりやすく指導することが必要だと思います。
- 表現が苦手な子には、ICTをうまく活用して自己表現ができる児童もいるので、学習に活用していくとよいと思います。また、その子にあった情報機器の使い方、危険性を理解させ、活用していったり、困り感を少しでも少なくできるように、ICTを活用できるとよいと思います。
- 支援アプリ（視覚や音声）・書き込みボードなどの活用により、個々のニーズに応じた学びができると感じます。何かの問題を解決するためのツール、自分の力を伸ばすためにツールであることを柱として活用、指導していきたいです。
- 障害に応じて活用することは、多様なニーズに答えるためにも大切であると考えます。学校間が連

携したオンライン合同授業や ICT を活用した学びの仕組みを構築していくようにしていきたいです。

- ネットのメリット・デメリットを確実に理解させることだと思います。本校では、学校医の先生や警察の方などの専門機関と連携しながら児童対象に講演会を行なっていますが、そのように児童自身が正しい知識を培うことがよりよい可能性につながると考えています。活用を通して、ネットに潜む危険を十分に理解したうえで効果的な活用ができると感じています。今後の指導としては、家庭の協力が不可欠なため保護者を巻き込んだ指導を考えていきたいです。

揖斐郡学校保健研修の内容についての感想や意見

- 現代的な問題に沿った内容で、とても良かったです。ちょうど懇談で保護者から相談されていた悩みと被るところがあり、また、今の子供達の健康課題に即した内容でとても勉強になりました。
- 現代の子供の状況を踏まえたタイムリーな講演が企画されたり、日頃の取組の表彰が位置づけられたりして、コンパクトに構成されていると思いました。
- 毎年、具体事例をもとにした講演が聞けて、その後の指導につなげることができます。
- 子どもたちの健康安全に関わって医師会の先生方からお話をお聞きすることができる機会は大切だと思います。学校保健に関わる多くの人が集まって研修できるよい機会だと思います。
- 表彰と講演と内容が絞られていて、有意義でした。
- 勉強になる話ばかりで、とてもためになりました。特に、学校環境衛生活動の講評は、真似したいと思える活動の共有がされ、勉強になりました。このスライド資料も次回はぜひ頂きたいと感じました。
- 学校環境衛生について、表彰校の具体的な実践が簡単に分かる物（例えば、写真の掲示物：1枚でいいので）あると PTA の方々にもより周知できるのではないかと思います。プレゼンの中で、優秀校の良かったところを、写真で示していたところはよかったと思います。
- 環境衛生活動の講評では、揖斐郡の学校の様子が分かってよかったです。学校環境衛生について、他校の実践を参考にして、「環境衛生を行うことで、自分の健康・安全を守る」という意識を児童がもてるようにしていきたいと思いました。
- 昨年度も参加しましたが、大変興味深い研修ばかりで、勉強になります。
- 歯の健康児童事業や学校環境衛生活動の講評について、どのような活動をしていくべきなのかが具体的にわかるため、ありがたいです。
- 環境衛生の表彰や講評などは養護教諭以外には慣れない内容だと思いますが、研修会で取り上げていただくことで歯の優良児や環境衛生の活動について知ってもらえる機会になったと思います。
- 具体的でわかりやすいお話で大変良かったです。講演は保護者に聞かせたい内容でした。



揖斐郡学校保健会の日程についての意見

- 現状で良いと思います。夏休み中で参加しやすい時期なのでありがたく、引き続きこのままでお願いしたいです。
- 時期や、午後の2時間という日程もよいと思います。
- 開始時刻が早いのが気になりますが、三師会の先生方の診療時間のご都合がありますので、このままでよいと思います。
- 二部構成で、ちょうど良い日程・時間でした。
- 児童が直接表彰を受けたり、保護者と児童が一緒に聞けたりできると更によいのではと感じました。
- 早めに日程を教えていただき、予定を立てやすく助かります。

次年度（令和7年度）の郡学校保健研修総会についての要望や意見

- このままの方法でよいと思います。来年度も同様な開催方法でお願い致します。
- もう少し広い部屋で行い、もう少し席にゆとりがあればありがたいです。コロナ以降、やはりパーソナルスペースを気にする人が増えてきているので。また、このままの集合型がよいのか、オンラインでの開催でもよいのかを一度検討してもよいかと思います。
- 養護教諭は三師会の方々との交流がありますが、他の先生方からの質問や交流の時間があっても良いかと思います。
- 学校保健会の理事の皆様には、準備から片付けまでお世話になりました。
- 保護者も子どもと一緒に講演を聞く場があると総会が生きるのではないかと感じました。第一部は PTA の参加はいらないのかなと思いました。